

より安全にお使いいただくために『二重安全使用法』を！

Ver.180810

不慮の事故を防止するために『二重安全使用法』を実施してください。

路面状況や走行状況、タイヤ重量など、様々な要因によって求められるチェーンの強度は異なります。チェーンはお客様にてご用意ください。

1. なぜ『二重安全使用法』が必要なのか？

スペアタイヤは運転席から離れた場所に吊られていることが多く、ぶついたりしても気付にくいものです。悪路走行や雪道のわだちなど、スペアタイヤ衝突の原因は多々あります。

時々「スペアタイヤキャリアが壊れた」などの情報が届きます。

現品を回収し調べてみると、ほぼ100%異常な力が掛かった痕跡があります。

つまり、**スペアタイヤをぶつけたのにもかかわらず気付かずにいて、そのうちにSTCが壊れてしまう**のでしょう。

STC内部の異常は、外観からでは点検できません。

その結果、最悪の場合は、走行中にスペアタイヤを落としてしまうこともありえます。

そうならないように、是非『二重安全使用法』を実施してください。

スペアタイヤの落下を一時的に回避できます。

タイヤ落下による**自損事故(乗り上げ)防止**や**後続車などの保護**のために、『二重安全使用法』の実施は**トラックユーザーの責任**です！！

2. 『二重安全使用法』のポイント

①STC取り付けブラケットではなく、**シャシーフレームにチェーンを巻く**とより安全です。

スペアタイヤをぶつけると、STCの取り付けブラケットもダメージを受けます。

ブラケットごとの落下を防ぐには、シャシーフレームへチェーンを巻くことが有効です。

②チェーンを**複数本**使うとより安全です。

タイヤがSTCから外れたとき、力が複数本のチェーンに分散されるので、チェーンが破壊される恐れが少なくなります。

③チェーンをできるだけ**ピンと張る**とより安全です。

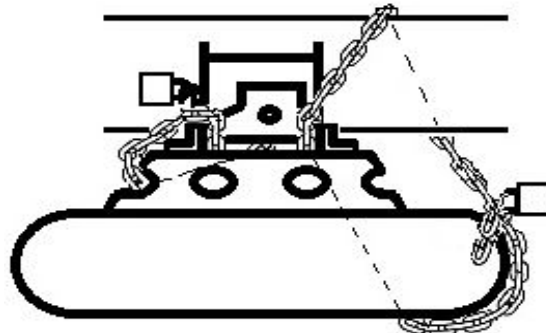
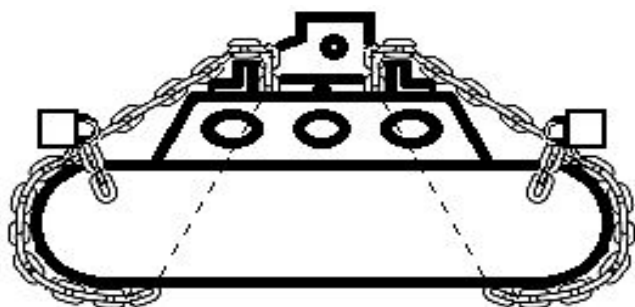
タイヤが脱落した場合、落下距離が短いほどチェーンに掛かる力が軽減できます。

チェーンをピンと張った方が、チェーンが破壊される恐れが少なくなります。

④チェーンを、ホイールの飾り穴ではなく、**タイヤの下を通す**とより安全です。

パンクやバーストして空気が抜けたタイヤに有効です。

3. 『二重安全使用法』の例



事例は今後随時増やしていきます。